

カナダの金融市場動向 Weekly Report

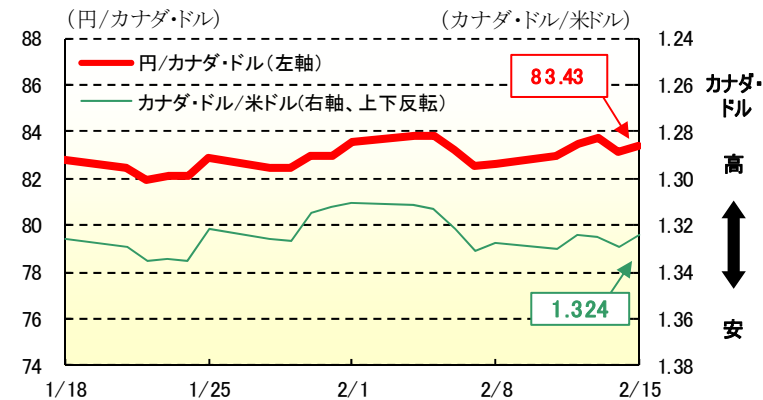
【2019年2月9日～2019年2月15日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドルは、対円で上昇しました。カナダ5年国債利回りは横ばいになりました。

週前半は、米中貿易協議の進展期待などを受けて投資家のリスク選好姿勢が強まったことから、カナダの金利は上昇しました。週後半は、米国小売売上高が予想以上の落ち込みを見せ、米国金利が低下したため、それに連れてカナダの金利も上昇幅を縮める展開になりました。カナダ・ドルは原油価格の上昇などを背景に対円で上昇しました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2019年1月18日～2019年2月15日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

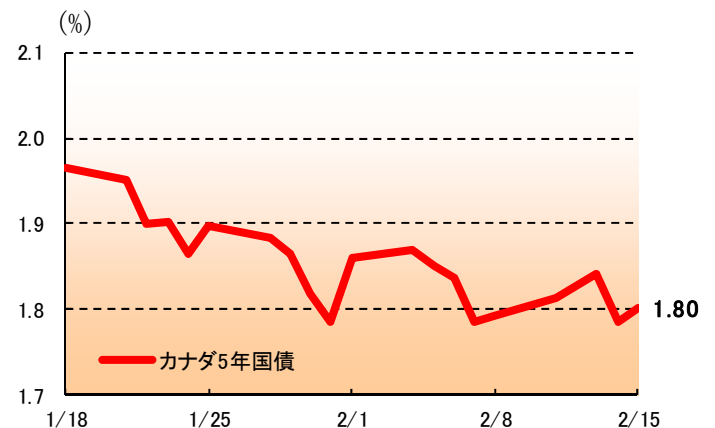
【2】今週の見通し

今週、カナダでは小売売上高の発表が予定されています。自動車販売の不振やガソリン価格の低下などから前月に引き続き軟調な結果となるかどうか注目されます。

米国では今週、FOMC (米国連邦公開市場委員会) の議事録が発表される予定になっています。1月4日 (現地) にパウエル議長が利上げに慎重な姿勢を示しましたが、その直後のFOMCでもあり、市場の関心が集まっています。

また、原油価格に関してはサウジアラビアの減産を受け需給の改善が意識されていることから、堅調に推移しており、カナダの通貨、金利を下支えすることが見込まれます。

【カナダ 金利推移】 (2019年1月18日～2019年2月15日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>